

③町の将来の人口について

これらの状況を踏まえ、「国立社会保障・人口問題研究所（社人研）」によると、町の将来人口は、25年後の2040年で「6,953人」、45年後の2060年で「4,414人」と推計しております。

【総合戦略の策定】

人口減少対策は、町の最重要課題の1つとして捉え、取り組んでおりますが、人口減少対策をさらに加速させるため、役場、小野町議会のみならず、産業界、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、マスコミ、町民代表で構成される「小野町地域創生総合戦略推進会議」を設置し、内容を議論・検討の上、総合戦略を策定しました。

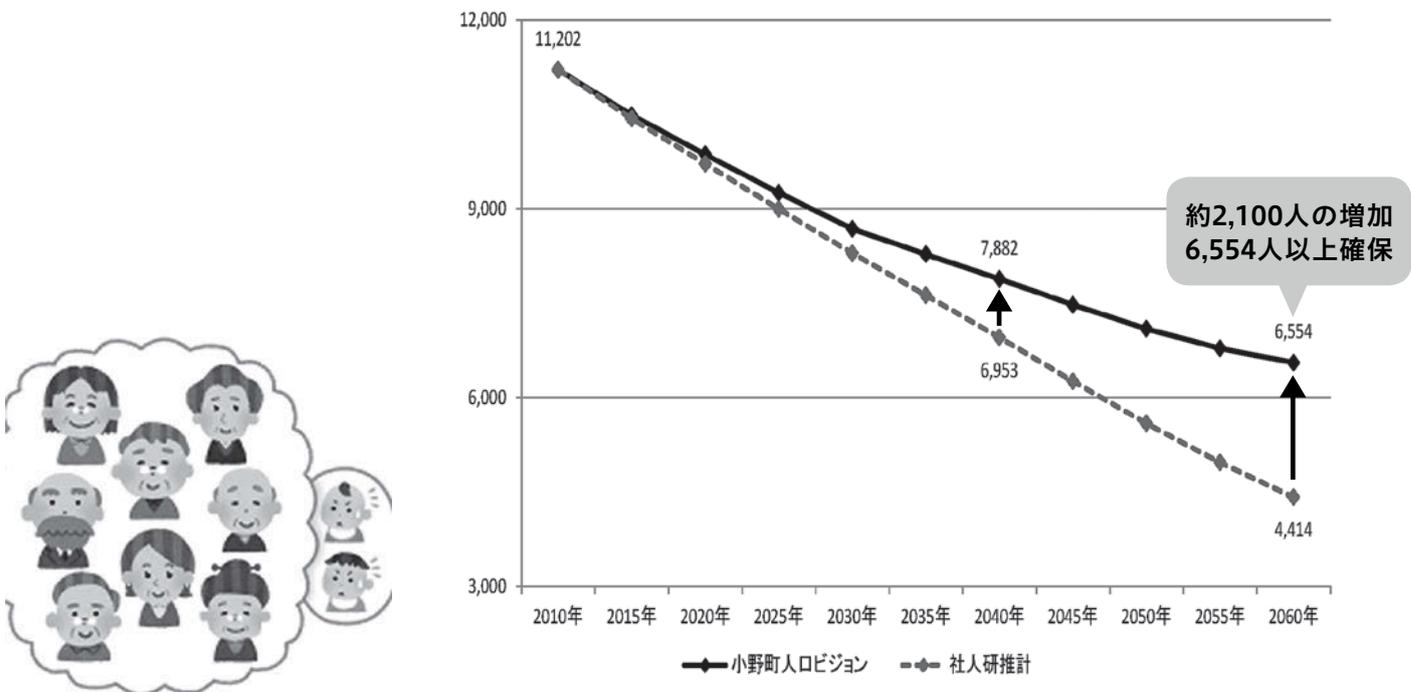
【目指すべき方向性】

人口減少に歯止めをかけるためには、自然減と、社会減をそれぞれ改善していくことが重要です。

町では、4つの基本目標を掲げ、これらを具体的に取り組むことで、社人研が推計した2060年の人口より約2,100人以上多い6,500人以上を確保します。(図3)

図3 人口の将来展望

単位：人



《基本目標1》

結婚・出産・子育て・教育に楽しみやうれしさを実感できるまちづくり

● 出会いの場づくりや出産・子育て・教育への支援などにより、若者や子育て世代が町で暮らしやすさを感じるよう環境整備を進めます。

● 公立小野町地方総合病院や町内の医療機関などの連携を促進し、医師の確保に努め、町内の医療体制充実を図ります。

《基本目標2》

活気にあふれ、賑わいを実感できるしごとづくり

● 企業誘致、創業支援を推進するとともに、町内にある企業等の継続的発展を支える仕組みを構築するなど全力で応援する体制をつくります。

● 魅力のある農業への変革を目指すため、農地の基盤整備や担い手への農地集積を図るとともに、農産物の流通販売の支援を積極的に行います。

● 小野町産の農産物の付加価値を向上させるため、農業の6次産業（生産・加工・販売を一括で行う産業）化を推進します。